

ダムや森林の役割を学び、自然の魅力に親しむ 玉川ダム交流会



河川愛護月間と森と湖に親しむ旬間行事の一環として、7月24日、玉川ダム交流会が現地で開催されました。

この交流会は、ダムや森林の持つ役割について学び、自然の魅力にふれ、児童相互の交流を図ることを目的に実施されています。

当日は、水源地域として市内9小学校と下流域から中仙小学校と河辺小学校の計11校の4年生340人と関係者が参加。参加者は12組に分かれ、普段は見ることがない玉川ダム堤体内部や発電所などの施設を見学したほか、ほかの学校の児童と交流を深めながら、昼食をとりました。

昼食後には、下流公園で魚のつかみどりをして楽しみました。



高校2年生がインターンシップ(就業体験)

働くことの意義や職業についての理解を深めることを目的としたインターンシップが行われ、角館高校2年生9人が、7月25日から3日間、市役所角館庁舎を訪れ、福祉関係の仕事を実際に体験しました。

参加した高校生からは「初日は不安でいっぱいだったが、終わってみると楽しかった」や「小さい仕事の一つ一つにも責任があることを知った」、「言葉遣いや明るく、はきはきとした態度で接することの大切さを学んだ」などの感想が聞かれ、ひたむきに取り組む高校生の姿が好印象でした。

雫石高等学校田沢湖地区PTA奉仕活動と交通安全講習会

雫石高校田沢湖地区PTAでは子供たちと一緒に地域の掃除などの奉仕活動と交通安全講習会を永年にわたって行ってきました。いままで田沢湖畔の清掃など行ってきましたが、昨年から田沢湖病院の花壇の除草作業を行っています。

今年も田沢湖病院の除草作業を企画し、7月29日の日曜日に行いました。

参加者は学校長を始め、PTA会長、学校関係者と田沢湖地区PTA、生徒など総勢44人となりました。

午前9時から10時過ぎまでの短い時間でしたが、陽射しの暑い中頑張っていたいただきました。人数が多いこともあり沢山の雑草を取り除くことができました。

家では親子で作業する機会も少ないなか一緒に同じ事をするよい機会を得たと思っています。



その後、会場を田沢湖総合開発センターに移し交通安全講習会を開催しました。

講師には田沢湖交番長の高橋幸雄氏においでいただき、自分の経験したなかからの話や地元を話題にした形での講話をいただき、交通ルールの順守や振り込め詐欺など悪徳商法について認識を新たにしました。

子供たちとのふれあいが少なくなっていると言われている現在、このような形で親と子が一緒にやる機会の一つとなっておりますので、これからも続けていきたいものだと考えています。

田沢湖地区長 佐々木 純悦